

# 浄光

発行 妙源寺  
昭和町西条 4157  
TEL 055-275-4739

ホームページの検索は、「[j-myogenji.jp](http://j-myogenji.jp)」(すべて小文字)で検索

妙源寺通信

ご挨拶・・・『日々に新たに慈しみの気持ちを抱いて』

春彼岸入り 3月17日～

昔から、怖いものとして、地震・雷・火事・親父と一番恐ろしいことが正月に能登半島を襲いました。もう災害は忘れられないうちにどこの地域に起こるかかわからない今の日本列島です。このくらい科学技術が進んでも予測不能なことであります。思うに、明日の雪の確率でさえ明確でない有様です。まして、何年後にどの地域にどの規模で起こるなどと言うことは正直当てにならないでしょう。公共の施設なら耐震診断、見直しなど、まさに人命は重しで替えがたく、備えあれば憂いなしです。

また、連日、能登には災害ボランティアの多くの方々が復興に力を注いでいます。日本全国から身なりを整え能登のためにと集まっています。阪神、東北、熊本には行けなかったけど、小さな一歩でも力になればと、正しく「慈しみの気持ち」を持って賛同しています。各方面から義援金も呼びかけられて一日も早い復興を望むばかりです。困窮したことに対しては慈しみの気持ちを持って、お互いに精進していきましょう。

## 花まつり 4/8(月)

「花まつり」はいのちの尊さを感じる日

花祭りとは、お釈迦様の誕生日とされる4月8日に行われる仏教のお祝いの行事です。宗派に限定されません。お釈迦様は約2600年前、インドのネパールの南部にある小さな村の名前でルンビニーという場所で誕生されました。

この行事では、お釈迦様の像に甘茶をかける慣習があります。信仰心を表現していますが、甘茶には「上に立つ者がよい政治を行って平和な世が訪れると、甘い露が降る」という中国の言い伝えや、「甘茶は神様の飲み物で、飲むと不老不死になれる」というインドの伝説によります。



お釈迦様のお言葉「天上天下唯我独尊」の意味って？

この言葉には「この世に生を享(う)けたひとりひとりの命は、他の誰とも代わることのできない尊いもの」という意味をもっています。

花まつりにぜひご参拝してください。園児の皆さんも来ます。

「日常」を慶び、「非日常」を真摯に享け留める

先ずは過日、能登半島大地震において被災された方々、及びそのご縁者様に謹んでお見舞い、ならびにご供養申し上げます。

令和6年1月1日の此の日、誰もが平穏で過ごそうとしていた年明けの暮らしが一転しました。

我々人類は幾度となく災害と対峙してきましたが、自然界の脅威の前にはいつも非力な存在であると痛感させられます。すなわち、人間界の営みはそれぞれ個々の都合などで「日常」と「非日常」と区別しておりますが、この地球という星、延いては宇宙全体の摂理にその分別はなく、いわゆる「無常」の「理」で成り立っています。ところが、我々は常々その「理」を忘れてしまいがちなので、常日頃から身の周りの出来事や物事を振り返り、感謝や祈りの気持ちを絶やさず、一日一日を悔いなく生きていきましょう！

当山 住職

## 宗祖750遠忌

(令和13年)

お題目信仰により人々の安心と世界平和の実現をめざします。

## ◇今後の予定

4/8 花まつり

5月

護持会拡大役員会

護持会費集金

## 星まつりへ参拝 2/11

菊地上人の正行寺(中央市)の新春祈祷会(星まつり)に参拝しました。水をかぶり一年の平穏無事を願う水行も行われました。(当山の行事を盛り上げる参考になれるようにと。)

